

県外派遣報告書

審判員名	坂上 靖奈	所属	中体連	
大会名	Young Officials' Camp 2013			
期間	平成25年8月9日(金)～11日(日)			
会場	埼玉県立スポーツ研修センター・上尾運動公園体育館			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
8月 9日(金)	実技・講義	上尾運動公園体育館・埼玉県立スポーツ研修センター		
8月10日(土)	実技・講義	上尾運動公園体育館・埼玉県立スポーツ研修センター		
8月11日(日)	実技	上尾運動公園体育館		
会議 講義 内容				
<p>NPOニッポンランナーズの齋藤太郎氏、田中悠里氏より、実技も含めて体幹・こけし走りのご講義をしていただきました。橋本信雄氏、須黒祥子氏より、YOCIに関するお話やロンドンオリンピックについてのお話をいただきました。平野彰夫氏より、ルールについてのDVD講義、特にシリンダーとリーガル・ガーディング・ポジションについて詳しくご講義してくださいました。宇田川貴生氏より、審判とはについてご講義をいただきました。仕事ができない人を例に人間性を身につけることや、審判の仕事の原点は、ルールブックに基づいて二者択一の選択をすることであり、より良い判定をしていくためには感じる力・判断する力・信頼感を得ること等が必要であり、人間性の向上として日常生活と密接に関わり合ってくるなど、具体的に詳しくお話していただきました。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月10日(土)	男子 女子	練習ゲーム
	対戦カード	埼玉県立上尾鷹の台高等学校 VS 神奈川県立逗子高等学校		主審 副審
	相手審判	中嶋 祥伍 氏(神奈川)		
ミーティング内容 主任 山崎 人志 氏 (埼玉)				
<p>ファウルを取り上げたことで、プレイの流れを切ってしまう。特に速攻につながる場面で見られたので、プレイを大きく捉えて判定する。追従する位置が悪いので、ボールマンがパスする相手を視野に入れられていない。首を振ってプレイを見ているため、正しい判定につながらない。良い位置で追従を行う練習をし、ボールマンとその周辺を視野に入れられるようにする。リードの際、リバウンドを捉えるのが遅いため、トレイルとの協力が得られない。良い位置へ早く動き、トレイルとの分担ができるようにする。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月11日(日)	男子 女子	練習ゲーム
	対戦カード	埼玉県立朝霞高等学校 VS 神奈川県立逗子高等学校		主審 副審
	相手審判	勝呂 真帆 氏(静岡)		
ミーティング内容 主任 前田 喜庸 氏 (東京)				
<p>ゲームの始まりに3ポイントのOWNゴールがあり、動揺してしまったが、今回の経験で次は冷静に処置ができるようにする。判定をすることではなく、スペースを捉えることが目的になっているので、正しい判定につながらない。優先順位を間違えないこと。トレイルの際、プレイヤーに近付き過ぎて、巻き込まれてしまう恐れがある。良い位置でプレイを捉えること。ボールマンへのディフェンスの寄り方が悪いと感じ、レフリーが行えていたか。まわりを気にせず、判定をすることに集中する。</p>				

実技				
	期 日	8月11日(日)	男子 女子	練習ゲーム
担当試合	対戦カード	埼玉県立越谷北高等学校 VS 埼玉県立川越南高等学校		主審 副審
	相手審判	U1:金井 大樹 氏(埼玉) / U2:稲田 翔人 (茨城)		
ミーティング内容		主任 須黒 祥子 氏 (東京)		
スリー・パーソン・システムについて。特にリードはボールから目を切り、制限区域付近にいるプレイヤーに目を当てておくこと。トレイルはスリーポイントラインの延長線上、センターはフリースローラインの延長線上、リードは広がり過ぎないで体の向きにも気を付けること。ツー・パーソンとは異なるということを理解する。				
全体の感想				
<p>今回、追従の仕方、トレイルの位置取りを特に丁寧に教えていただきました。また、良い位置取りをし、正しく判定するためには、バスケットボールの理解に努めることやスペースを捉えるために見に行くのではなく、判定をするために見に行っていることなど、正しく判定することについて、改めて考えることができました。</p> <p>このたび、お世話になりました日本協会の皆様、このような講習会を開催、運営していただきありがとうございます。今回、経験したことを生かし、レベルアップできるよう取り組んでいきます。ありがとうございました。</p>				